



2025年10月吉日
株式会社 JTB 霞が関事業部

JENESYS²⁰²⁴

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2024PhaseⅡ」台湾派遣プログラム (テーマ:防災)

募集要項

「JENESYS2024PhaseⅡ」台湾派遣プログラムへのご参加を希望する学生を下記の通り募集します。

I. 概要

1. 事業概要

対日理解促進交流プログラムは、日本政府(外務省)が推進する事業であり、日本とアジア大洋州、北米、欧州、中南米の各国・地域との間で、対外発信力を有し、将来を担う人材を招へい・派遣するものです。

JENESYS2024PhaseⅡ派遣事業は、対日理解促進交流プログラムのうち、アジア大洋州の各国・地域を対象とした事業です。5名の将来を担う人材を対象とし、台湾へ7日間派遣します。

2. 目的

日本の大学生、大学院生を2026年3月18日から3月24日にかけて台湾に派遣し、防災に関する視察、台湾の大学生との交流を行い、また、プレプログラムとして、2026年1月31日から2026年2月1日にかけて来日する台湾の大学生に対し、日本側ホストとして1泊2日で交流を行う。こうした交流を通じ、青年間の友情を育み、日台の絆を更に強固なものとする。

＊対日理解促進プログラム「JENESYS2024PhaseⅡ」とは

日本と台湾との間で、対外発信力を有し、かつ将来を担う人材を招聘・派遣又はオンライン交流を通じ、政治、経済、社会、文化、歴史及び外交政策等に関する対日理解の促進を図るとともに、日本の外交姿勢や魅力等について、本事業参加者からSNS等を通じて積極的に発信してもらうことで対外発信を強化し、我が国との友好関係を強化することを目指している。

3. 派遣国・地域・派遣期間・派遣日数・人数

派遣国・地域	派遣期間	派遣日数	派遣人数
台湾	2026年3月18日(水)～3月24日(火)	7日間予定	5名

4. プログラム内容(全てのプログラムに参加できることが必須条件となります)

- (1) 第一回オリエンテーション(オンライン):2025年12月18日(木)午後12時～午後2時
 - (2) プレプログラム 台湾大学生との合宿(於:東京もしくは山梨、神奈川など近郊)
2026年1月31日(土)から2026年2月1日(日)
(視察、プレゼンテーションやディスカッション)
 - (3) 第二回オリエンテーション(オンライン):2026年3月4日(水)午後12時～午後2時
 - (4) 台湾派遣:2026年3月18日(水)から2026年3月24日(火)
 - ・現地の関係機関への表敬
 - ・大学、大学院又はその他関係施設の訪問・交流(プレゼンテーションやディスカッション等)
 - ・現地視察
 - ・ワークショップ、報告会(『アクション・プラン』※の作成・発表)
 - ※アクション・プラン:台湾で学び、経験したこと踏まえ、日台のネットワーク構築、日本に関する継続した情報発信を目的として作成する帰国後の活動計画のこと。
- ※ 現地事情によりプログラム内容は変更される可能性があります。
- ※ 全てグループ行動となり、自由行動の時間は基本的にはございません。また、途中離団等も認められません。
- ※ 語学研修プログラムではございません。

5. 渡航前準備・プログラム中の活動・帰国後活動 (全て必須)

- (1) 渡航前準備(参加者各自で準備)
 - 1) 台湾及び日本歴史、文化、政治、経済等の事前学習
 - 2) 1月31日から2月1日のプレプログラムにおける日本の情報発信(日本における防災プレゼンテーション)に向けた準備(パワポ1～2枚(英語)、一人3分程度)
 - ※各班ごとに発表内容が重ならないように分担すること
 - 3) プレプログラムに関して日本台湾交流協会 HP にて公開する概要報告(各グループでまとめて A4 サイズ1枚、写真数枚)
 - 4) 3月の訪台プログラムにおける情報発信(日台の防災分野での協力の可能性、パワポ1～2枚(英語))
 - (2) プログラム中の活動
 - 1) プログラム中の経験を、Facebook・ブログ等のSNSで、情報を可能な限り発信(公開設定にて)
 - 2) 日本の情報発信(プレゼンテーション)を実施
 - 3) アクション・プランの作成と最終報告会での発表
 - 4) 参加後のアンケート提出
 - (3) 帰国後の活動
 - 1) 日本台湾交流協会 HP にて公開する訪台に関する概要報告(各グループでまとめて A4 サイズ1枚、写真数枚)
 - 2) アクション・プランの実施(帰国後3ヶ月以内に実施)
- (例)
- ・日本台湾交流協会のホームページに報告書を掲載する(必須、様式はこちらで指定します)
 - ・中国語の勉強を始め、台湾に対する理解を深める
 - ・台湾で学んだことを研究、論文のテーマに盛り込む
 - ・在籍学校、関連校、在住地域等での報告会の実施
 - ・台湾での経験を SNS に投稿し、家族や友人に共有する
 - ・新聞等のメディアや広報誌等へ寄稿
 - ・参加者間で同窓組織を立ち上げ、台湾及び世界各国発信
 - ・現地訪問校と継続的な交流を計画・実施
- 等

- 3) 3ヶ月後アンケートの提出
- 4) フォローアップ事業への参加

II. 募集要項(下記の項目を全て満たすこと)

1) 応募条件

- 派遣時に大学、大学院に在籍している学生で大学3年生、4年生、修士1年生、2年生で、年齢35歳以下であること(*1)
- 過去に日本政府の資金で実施している海外渡航プログラム参加経験がないこと(*2)
- 台湾での6ヶ月以上の長期滞在経験がないこと
- 心身ともに健康であること(*3)
- 原則として日本国籍を有すること(*4)
- 台湾への興味・関心・学ぶ意欲があり、英語、中国語で台湾で積極的に交流しコミュニケーションをとることができること
- 事前資料(PPT 等)の提出期限を必ず守り、積極的にプレゼンテーションやディスカッションで交流をし、意見を述べるができること
- 本事業の趣旨を理解し、
 - 事前説明会、日本におけるプレプログラム、渡航前準備・プログラム中の活動・帰国後活動に主体的に取り組めること(いずれかに参加しない場合は、参加資格を取り消します)
 - 訪台期間中にオンライン等による就職活動(面接や説明会、インターンシップなど)に参加しないこと
 - 日台交流の成果を積極的・持続的に発信できること
 - 最終的にプログラムの成果をまとめることができること(成果は日本台湾交流協会のホームページや Facebook で公表する)
 - 英語もしくは中国語で台湾の大学生と意思疎通できる学生を優先する
- 日本の代表という自覚を持ち、規律ある団体行動がとれ、実施団体が定めたルール(自由行動禁止、門限厳守等)に従うことができること、団体行動に支障のない健康状態で、自己管理が可能であること
- 別添、『対日理解促進交流プログラム「JENESYS2024PhaseⅡ」大学生・大学院生派遣 参加同意に当たっての確認事項』をよく読み、「参加同意書(プログラム中の責任範囲への同意、個人情報ならびに肖像権の使用、成果報告の公開に関する同意含む)」に同意すること
- パスポートを2026年1月30日(金)までに取得できること
※パスポートを持っても、有効期限が2025年9月14日(日)以前の場合、余白ページが3枚以下の方は、参加決定の連絡を受けたあと、速やかにパスポート申請・更新を行い、1月30日(金)までにコピーを提出すること。

※プログラムに遅刻・欠席する、プログラム中問題行動がある、注意喚起にもかかわらず提出期限を守らなかった参加者がいた場合、今後2年間、参加者の在籍する大学は JENESYS 事業への参加が認められません

- (*1) 応募申込書書面、学生証にて確認をさせていただきます。
- (*2) 下記以外にも様々なプログラムがありますので、必ず、ご自身で確認をお願いします。
(例)JASSO(日本学生支援機構)海外留学支援制度、トビタテ！留学 JAPAN(官民協働海外留学支援制度)、内閣府(青年国際交流事業等)、外務省による派遣事業(対日理解促進交流プログラム、KAKEHASHI Project、JENESYS2.0、キズナ強化プロジェクト等)
- (*3) 本プログラムは集団行動となり、また、多忙なスケジュールにも耐え、プログラムを遂行する体力・精神力が必要となるため、既往症又は慢性疾患、怪我の治療中や妊娠中等の場合は、参加は認められません。
- (*4) 永住者及び特別永住者(日本居住者)については、提出書類と一緒に証明書(両面)のコピーを提出して下さい。外務省への確認後、参加の可否を決定します。

※アレルギーによる食事制限には対応できないことがあります

2) 募集人数

5名

※募集状況に応じて、人数を調整させていただく場合がございます。

3) 参加費

以下の費用を本プログラムにて負担します。

- ・ プレプログラム(1月の台湾大学生訪日団との合宿)の東京から地方への移動費、プレプログラム中の滞在費(交通費、食費、宿泊費(複数名で1部屋)、視察に関する入場料、体験料など)。プレプログラムは、東京都内の指定する場所に集合し、そこからバスで移動することになります。集合場所までの交通費は含まれておらず、自己負担になります。
- ・ 国際航空賃
(日本出入国国際空港～台湾 往復 エコノミークラス)ただし、団員都合により、国際航空券を買い直す必要が生じた場合は、自己負担になります(台湾でのパスポート紛失により、予定フライトに乗り遅れる等)
- ・ 派遣先滞在中宿泊費 原則2～3名1室利用
- ・ 派遣先滞在中食費
- ・ 派遣先移動交通費(プログラムに関する移動のみ)
- ・ 派遣先施設入場料
- ・ 海外旅行傷害保険加入(本プログラム規定の補償内容)

※上記の経費以外は参加者負担となります。主なものとしては次の通りです。

- ・ 旅券(パスポート)取得にかかる費用
- ・ 本プログラムの集合場所、解散場所と自宅の間の日本国内における移動交通費
- ・ 航空機超過手荷物費用
- ・ プレプログラム及び台湾訪問で交流する大学生へのお土産
- ・ プレプログラムの前日及び台湾への出発前日、プレプログラム終了日及び台湾からの帰国日に日本国内で宿泊が必要な場合の宿泊費
- ・ 渡航前準備・帰国後活動にかかる全ての費用
- ・ 派遣先でのプログラムに関係ない全ての費用
- ・ チップや私的な買い物、小遣い
- ・ 滞在中宿泊箇所での個人的費用(インターネット、電話、ミニバー、クリーニング等)
- ・ 参加者が別途、任意で加入する海外旅行傷害保険
- ・ 参加決定後の自己都合による参加中止にかかるキャンセル料
- ・ 参加決定前に発生した本プログラム参加準備にかかる費用

4) 提出書類

- 1) 応募申込書
- 2) 参加同意書
- 3) 作文(A4 用紙1枚、1,000 字以内)
[テーマ] 台湾に伝えたい日本の防災、台湾での学びを今後はどうつなげていくか
- 4) あれば語学試験資格のコピー

※参加決定後、在籍確認のため学生証のコピー(写真または、PDF)のご提供をお願いいたします。

5) 提出期限

応募書類提出:2026年11月21日(金)17時まで(必着)

- ・応募締め切りは11月21日(金)としていますが、応募者が15名に達した時点で募集を締め切り、審査の上5名の参加者を決定いたします。
- ・団員選定理由等に対するお問い合わせにはお答えできませんので、予めご了承ください。
- ・参加決定後、在籍確認のため学生証のコピー(写真またはPDF)の提供をお願いします。
- ・参加決定後に応募内容に虚偽が発覚した場合、または応募資格に欠格が生じた場合、当方の求める書類の提出期限を守れない場合は、参加をお断りすることがありますので、予めご了承ください。

6) 提出方法・提出先

全ての必要書類一式を E メールにて、下記提出先までお願いします。

- 提出先メールアドレス:a_tachibana858@jtb.com
n_fujino029@jtb.com
- 提出方法:件名「JENESYS2024PhaseⅡ」台湾派遣プログラム参加書類としてください。
※個人情報保護のため、添付ファイルにはパスワード「taiwan24Ⅱ」をつけてください。

7) 予定

2025年11月21日(金):応募書類提出締切
2025年12月3日(水):渡航者決定
2025年12月18日(木):第一回事前説明会(オンライン)
趣旨・概要、必要な手続きの説明、グループリーダーの決定、プレプログラムの内容説明(プレゼンテーションについて)等
2026年1月30日(金):参加者情報提出締切
2026年1月31日(土)~2026年2月1日(日):プレプログラム(招へい団との交流)
2026年3月4日(水):第二回事前説明会(オンライン)
日程、事前準備事項、台湾滞在中の注意事項の説明、訪台時のプレゼンテーションの事前演習等
2026年3月18日(水)出発(羽田または成田空港)

全ての日程に参加して下さい。事前説明会、プレプログラムに参加できない場合は、参加資格を取り消します

8) 提出先・問い合わせ先

<実施団体>

株式会社 JTB 霞が関事業部

〒100-6051 東京都千代田区霞が関 3-2-5 霞が関ビルディング 23F

対日理解促進交流プログラム「JENESYS2024PhaseⅡ」台湾派遣プログラム

担当:立花/藤野

E-mail: a_tachibana858@jtb.com (立花)

n_fujino029@jtb.com (藤野)

受付時間(月)～(金)(09:30～17:30)土・日・祝祭日除く

※お問合せの際には、「JENESYS2024PhaseⅡ」台湾派遣プログラムの旨をお申し出ください。